

研究課題名	肝細胞癌および大腸癌肝転移に対する手術適応に関する国際比較研究
研究の意義・目的	肝細胞癌、大腸癌肝転移に対しては日本と欧州で手術適応や手術術式に大きな違いがありますが、実際にその違いを比較した研究は認められません。大阪公立大学とフランスのピティエ・サルペトリエール病院にて相互に診療情報から治療方針を判断し、比較します。本研究によって、日本と欧州の治療方針の違いを明らかにし、手術術式や周術期成績について検討することで、肝細胞癌、大腸癌肝転移に対する治療の妥当性について明らかにすることを目的とします。 本研究は、ピティエ・サルペトリエール病院に情報を提供します。加工した診療情報をパスワードでロックされたデータシートに入力しメールで送付します。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2028 年 12 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	大阪公立大学およびピティエ・サルペトリエール病院で肝細胞癌または大腸癌肝転移に対して肝切除術が施行された方で、2023 年 1 月 1 日を開始日とした連続 20 名の方が対象です。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：年齢、性別、主診断名、併存疾患、開腹手術歴、肝切除歴（回数）、肝細胞癌治療歴、大腸癌治療歴（術前化学療法） <ul style="list-style-type: none">・身体所見：身長、体重・血液検査結果： 手術前：HBs 抗原、HCV 抗体、Cre、総ビリルビン、Alb、ALT、PT%、ICGR15、血小板数、ICG-R15、AFP、PIVKA-II、CEA、CA19-9・画像検査：術前あるいは術前化学療法前 CT 全画像、脾長径、切除予定肝体積率・手術情報：手術日、手術術式、手術時間、出血量、輸血・病理検査：病理診断名、切除断端距離、癌遺残・術後合併症：Clavien-Dindo 分類 I 以上・退院情報：退院日、在院死亡の有無・術後補助化学療法：実施の有無
試料・情報の 提供を行う機関の名 称及びその長の氏名 (提供元について)	機関名：公立大学法人大阪 大阪公立大学 機関の長の氏名：理事長 福島 伸一 機関名：Hopital Pitié-Salpêtrière(ピティエ・サルペトリエール病院) 機関の長の氏名：Mme Pauline MAISANI
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
提供する試料・ 情報を用いる研究に	研究代表者：大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 石沢 武彰

係る研究責任者	
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	<p>以下の機関が御提供いただいた情報を本研究に利用いたします。</p> <p>【研究代表者】 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 石沢武彰</p> <p>【共同研究機関・研究責任者】 ピティエ・サルペトリエール病院 肝胆道外科・肝移植外科 Chetana Lim</p>
個人情報の取り扱い	<p>この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。</p> <p>この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。</p>
本研究の 利益相反	<p>本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力を したくない場合	<p>診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。</p>
連絡先	<p>大阪公立大学医学部附属病院 肝胆膵外科 担当者氏名：新川寛二 電話番号：(06) -6645-3841</p>